

墨と水から広がる世界

6年生最初の図工は、墨絵に挑戦しました。

水の量を調整して墨の濃淡を変えながら、何枚もの墨絵を描きました。描きあがった墨絵は、木枠に貼って1枚の作品に仕上げました。



墨で服が汚れないよう、第1回目の授業では、「ツナギ」を着てみました。小学部の先生たちに「かっこいい!」とほめられました。

翔太さんも中学部に行ったら、作業学習でツナギを着たりするのでしょうか?

墨絵を描いているところです。まっすぐな線、グルグルグネグネの線、点々と、いろいろな描き方を試しました。水の量を変えて、墨の濃淡やにじみの表現にもチャレンジしてみました。



墨絵を貼る木枠も自分で作りました。枠組みの大きさを変えて、大きな作品や小さい作品が貼れるようにしました。着色ニス塗って色をつけ、締まりのある木枠に仕上げました。

にじみのある墨絵と、にじみのない墨絵ができました。にじみを見ていると「まるで雨が降ったみたいだ」と思いました。そこで作品を「雨の世界・晴れの世界」にしました。



酒井 翔太